

市報

# やまぐち

昭和57年

11月15日

No. 848

### 交通事故状況

種別	区分	累計	
		10月	本年 昨年
発生件数		62	492 488
死亡者		0	7 7
重傷者		5	51 41
軽傷者		74	555 528

発行 山口市役所  
編集 企画部広報課  
印刷 森重印刷所



## 楽しい秋の一日 中央公民館まつり

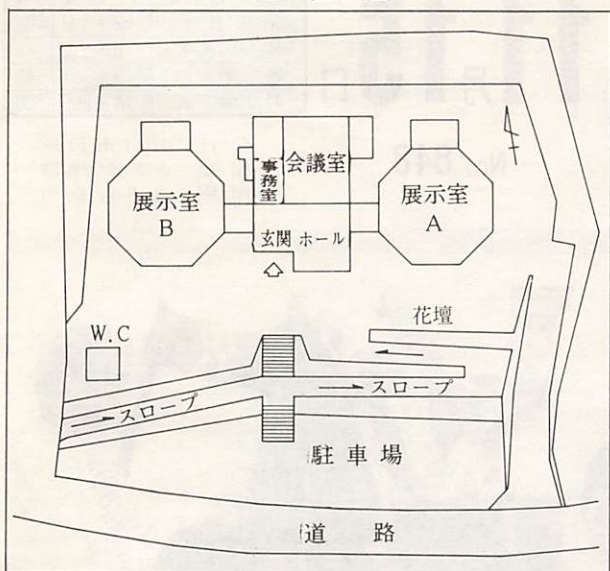
公民館まつりのトップを切って、中央地区公民館まつりが10月30日・31日の2日間、中央公民館や市民会館などを会場に開かれました。

市民会館展示ホールやロビーでは、日本画・盆石・生花などの発表展示会が行われ、小ホールでは、「おまつり広場」

が催され人形劇、奇術、ギター合奏など各グループが日ごろの練習の成果を披露していました。

また、市民会館中庭の「ふれあい広場」では、大声大会・竹細工づくり・おもちつきなどが行われ、家族連れの子やチビッコたちが秋の一日を楽しく過ごしていました。

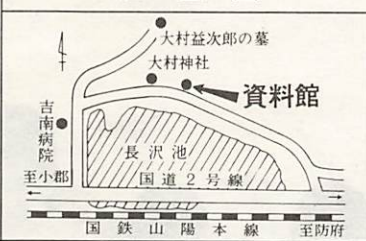
▽ 配置図



# 鑄銭司に資料館

## 8角型の夢殿風で

▽ 位置図



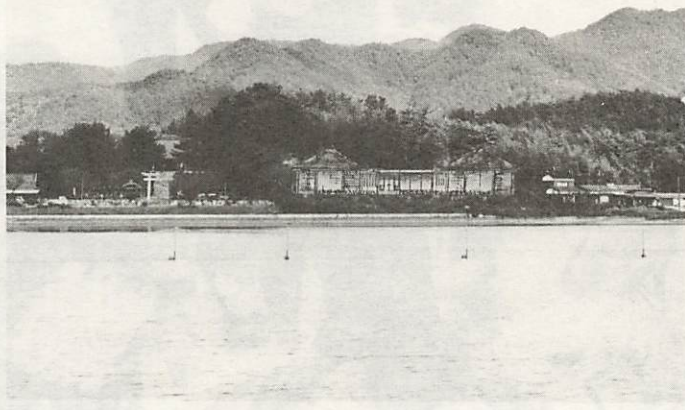
幕末、最高の戦略者といわれ、また、明治維新の功績者として名高い、大村益次郎が祀られている大村神社に隣接して、資料館（仮称）を建設することになりました。

建設地は、鑄銭司宇小丸山の丘陵地で、同神社東側の二千四百九十六平方メートルの用地（買取済み）に建設するものです。

資料館は、鉄筋コンクリート平家建てで、屋根は和瓦を使い、壁はクリーム色で、周囲の山に調和した外装にするなど、遠くからでも訪れた人の目を引く、

近代的なユニークな建物です。同館の中央管理棟の玄関ホールを入ると、奥が事務室、会議室、その管理棟の両サイド左右に、八角型の夢殿風の展示棟を

# 眼下に眺む 長沢池



### 観光客には 大きなプラス



長沢池は、秋から春にかけて満々と水をたたえ、水面にはボートが浮かび、白鳥が遊び、初

夏の新緑、秋の紅葉、冬の積雪と四季に織りなす景色はまた格別です。

観光シーズンには、大村神社前の広場には大型バスが五、六台駐車するほどの盛況ぶりです。その神社の隣りに資料館が建設されると、神社への参拝や長沢池を眺めるだけでなく、大村益次郎の遺品や鑄銭司遺跡の出土品を見学することができ、観光客にとって大きな魅力がひとつ加わります。

（鑄銭司今宿東・野村久さん）

二棟配置しています。同館全体の面積は四百六十四平方メートルです。

管理棟からの眺望は素晴らしい、湖の向こうに国道二号線が望まれ、手前には湖水にきれいな水を満たしたたえ、長沢池が一望できるように工夫し、同棟の三面をガラス張りにするにしています。

駐車場は、長沢池側の道路沿いに設け、階段とスロープを利用して入館することになり、また、敷地内にはトイレや花壇も設けます。

展示物は、一方の展示室に大村益次郎の遺品などを展示し、他方には周防鑄銭司遺跡から出土した古銭などを展示するほか、お金の歴史を明らかにする「日本のお金」も展示します。

建物の完成は五十八年三月の予定ですが、展示室内の乾燥や展示品の搬入などで、開館は秋以降になる見込みです。

長沢池側から大村神社を望む。神社に向かって右側は資料館の姿図



### 「私たちのまち山口」 大殿小学校のJRC活動

市では、毎週日曜日の午前十一時五十分から五十分間、TYSテレビで「私たちのまち山口」を放映しています。

十一月二十八日、十二月五日、十二日は、県下の学校でも例が少なく、また市内で唯一のJRC（少年赤十字）活動を学校教育に取り入れている大殿小学校を紹介しています。

JRCに加入している市内の学校と、互いに交換する絵やアルバム作りの模様を放映します。

### ふぐ処理師

免許講習会・受験希望者は申し出を

「ふぐ」を業として扱う人は、「ふぐ処理師」の有資格者に限られています。

この資格取得には、講習会と試験の方法があります。

次の資格がある人で、資格取得の希望者は、十一月三十日までに山口保健所（葵二丁目☎二二・五一一一）へお申し出ください。

○講習会受講資格 昭和五十六年十月一日以前に五年以上、業としてふぐの処理を行っていた人 講習会による免許の取得は、五十八年九月までに実施される講習会が最後になります。

○試験受験資格 受験申請する前三年以上五年未満、業としてふぐの処理を行っていた人

五十七年度の試験は、来年二月に実施される予定です。

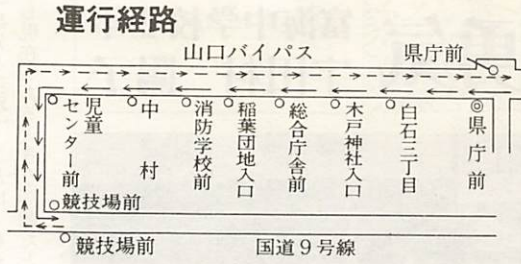
# 県庁 競技場

## 山口バイパスにバスを運行

11月20日から

十二月二十日から、国道九号

線山口バイパスの「県庁前」から「競技場前」間に、市営バスを運行します。  
このバスには「バイパス経由」の印の停留所になります。



山口バイパスを運行するバスの県庁前の乗り場

### 〈時刻表〉

8.21	10.36	12.53	14.33	15.50	18.42	県庁前	8.00	10.27	12.40	14.20	15.45	17.35
8.22	10.37	12.54	14.34	15.51	18.43	白石三丁目	7.59	10.26	12.39	14.19	15.44	17.34
8.23	10.38	12.55	14.35	15.52	18.44	木戸神社入口	7.58	10.25	12.38	14.18	15.43	17.33
8.24	10.39	12.56	14.36	15.53	18.45	総合庁舎前	7.57	10.24	12.37	14.17	15.42	17.32
8.25	10.40	12.57	14.37	15.54	18.46	稲葉団地入口	7.56	10.23	12.36	14.16	15.41	17.31
8.26	10.41	12.58	14.38	15.55	18.47	消防学校前	7.55	10.22	12.35	14.15	15.40	17.30
8.27	10.42	12.59	14.39	15.56	18.48	中村	7.54	10.21	12.34	14.14	15.39	17.29
8.28	10.43	13.00	14.40	15.57	18.49	児童センター前	7.53	10.20	12.33	14.13	15.38	17.28
8.30	10.45	13.02	14.42	15.59	18.51	競技場前	7.51	10.18	12.31	14.11	15.36	17.26

## 13人とその道一筋 秋の叙勲 13人が受章

昭和五十七年度秋の叙勲および褒賞をはじめ、県の教育功労者表彰を受けた市民の方は、次のとおりです。  
業務の分野はそれぞれ違っても、その道一筋に活躍された方々です。(敬称略)

### 秋の叙勲

▽勲三等旭日中綬章  
吉原登覺(72・白石三丁目)

▽勲四等旭日小綬章  
島地方検察庁事務局長)

▽勲六等瑞宝章  
正)

元神戸商船大学教授、和田克己(70・水の上町・元山口県知事)

▽勲五等瑞宝章  
浅原美橋(75・水の上町・元山口大学教育学部附属山口中学校教諭、古村次郎(72・白石二丁目、元山口県地方労働委員会委員)

藤山平真(70・宮野・元山口郵便局長)  
▽勲五等双光旭日章  
紙本榮一(79・泉都町・元全日本剣道連盟理事、現山口県体育協会理事、中村瑞芳(70・本町一丁目・現保護司)

入江正則(63・平川・元山口刑務所看守長)、竹中隆幸(72・陶・元山口市消防団分团长)、宮田作治(68・富田原町・元山口県事務吏員)

### 秋の褒賞

▽黄綬褒賞  
西谷敏正(61・葵一丁目・現(西谷商會代表取締役)

### 県教育功労

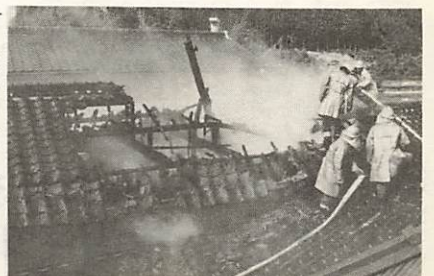
田村幸志郎(53・三の宮一丁目、県公立高等学校PTA連合会会長)  
山口一(73・駅通り二丁目、山口陸上競技協会会長)

## 焼死事故を防ごう

### 秋の火災予防運動 11/21 - 12/2

十一月二十六日から十二月二日まで「秋の火災予防運動」週間です。  
朝晩の冷え込みとともに、暖房器具の使用が始まりますが、特に秋は空気が乾燥し、ちよつとした火種で火事になりやすいものです。  
この運動期間は、みんなが防火意識を高めて火災を防ぎ、いたましい焼死事故をなくそうとします。

火の用心、心で用心、目で用心。火災防止に努めましょう。



### 人権相談所の開設

十二月四日から十日までの人権週間にならみ、次のとおり相談所が開設されます。

### 青年海外協力隊 隊員募集説明会

- 日時 十一月二十二日(月)午後六時～九時
- 場所 市中央公民館視聴覚室
- 内容 募集説明、応募相談、映画「海を越えた青春」ほか

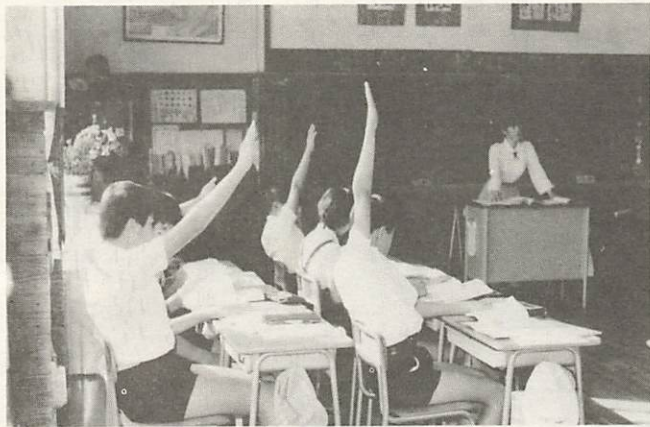
- 相談担当者 弁護士、人権擁護委員、法務局職員
- 主催 山口地方法務局、県人権擁護委員会

### 旅館街で消防演習

11月28日(日)午前10時から約1時間、湯田温泉三丁目・四丁目一帯で旅館街の大火を予想して消防演習が行われます。

# あなたの勇氣

## 富海中学校2年 宇田村 陽子



小学校での同和教育の授業風景

# 子供たちはこう考えています

民主主義の国日本で、今なお同和地区に生まれたというただそれだけの理由で、差別のために、自由に仕事を選ぶことができなかったり、愛し合う人と結婚することができず、苦しんだりする人がいることは、絶対に許されぬことです。

人は、だれでも、人間として幸せに生きていという願いを持っています。その願いを、偏見によって踏みにじっている人がいるのです。

# 同和教育の成果

明日の山口市をなう子供たちは、幼稚園、小学校、中学校、高等学校で一貫して行われる同和教育により、発達段階に応じて人権尊重の精神を育てています。

十一月十一日から二十日までの「同和対策推進週間」にあたり、あらためて、この問題について考えていきたいと思います。市内の小・中学生の同和問題に対する考えをご紹介します。

# 「ぼくたちの町」を読んで

## 小学校六年 男子

「身分と差別」、これは、むかしも現在もある大きな問題だと思ふ。

むかしは、士・農・工・商それぞれ

の他を基にして身分が決まっていたが、現在ではもはや身分が存在しない。にもかかわらず貧富や職業や学歴などで勝手に身分を決め、人を差別する人がいる。

身分や差別などは、人を死にまでおいやつてしまうのに、どうして人は人を差別するのだろうか。みんな人間のだから、この現在に生きていく権利があるはずだ。と同時に、生きていく上で、人を差別したり差別されたりする理由も必要もないと思う。

しかし、人は差別をする。どうしてだろうか。富がある人が貧ぼうな人を差別すると、自分にもっと財産がふえると思っているのだろうか。学歴のある人が学歴のない人を差別すると、自分にもっと学力がつくと思っているのだろうか。

現在の人々は、よく江戸時代の身分を気にしているが、あの時代の身分は、將軍が「おまえたちより低い身分があ

るんだ」

ということを農民や町人たちにわからせ、いかに身分があるようにみせかけて働かせようとしくんだのだ。そのために、その他などという身分をつくったのだ。

その、その他の中に入る人々の気持ちも考えないで……言いかえればこれは、一種のわなだ。それなのに現代の人々は江戸時代の身分にこだわっている。また、江戸時代の祖先の身分など、現在の本人には、全く関係ないと思う。

# 「まんたん」のべんきよう

## 小学校一年 女子

どうとくのじかに「なかよし」で、まんたんのべんきようをしました。

わたしは、本にかいてあったとおり、ドッチボールに「まんたん」といって、よせてもらえないときがありました。そのとき、まわりに人があつまってきた。

「よせてもらおうや」と、いいました。

「いや。見るほうが好きよ」と、いった人もいます。

ドッチボールをやっていたグループの中の人で、やつちゃんはまだまっていたが、

「よしてあげようか」といって、よせてくれました。

一学きのとき、よせたら人づうがなくなるからだめといわれて、かなしかったことがあ

りだつたとしても、今はりつぱになつてい人もいだろうし、江戸時代の祖先が身分の高い人だつたとしても、今りつぱになつていなければ何もならない。だから江戸時代の身分で差別をするなど、とんでもないことだ。

「身分と差別」これは、現在から未来へかけて解決すべき大きい課題だ。

大人たちに、

「江戸時代の身分制度は、人々を働かせるために將軍が作ったわなだつたのだから、現在の人には全く関係ない」と説明しても、わかつてもらえない。

この問題は、江戸時代の身分制度を作つたわけを知っているぼくたちが解決する問題だと思ふ。

もうすぐそこまで来ている二十一世紀にはばたくぼくたちが、差別をなくしていかねければならないと思う。それには、まず今、自分たちが子供どうしで行っている差別をなくしていくことが先決だと思ふ。ぼく自身、差別を見ぬき、それに立ち向かう人間になりたい。そして友だちと力を合わせて差別のない明るい未来にしたい。

はきらいです。のけものもだいきらいです。

わたしのおねえさんは四年生ですが、よく、のけものにされたといつて、おこることがあります。やつぱりかわいそうです。

このごろ、なわとびを本気でやっていますが、なわのながさでチームをわけると、よわい人ばかりになつてもんくをいう人がいます。

これも、もんくいっこなあしできたのでしかたありませんが、わたしは、つよい人とよわい人がおなじよにいるチームがたのしいとおもいます。

おわりのかい

わたしは、まんたんというの

おわりのかい  
いけんをいおうとおもいます。

## 湯田中学校3年 桐田 知典



(5)

# いまほしい差別をなくすあ

## 特選語

### 同和問題について

#### 中学校三年 女子

私たちは、小学校の時から同和教育を受けている。身の周りにおこる小さな差別から、部落差別のような大きな問題まであることを知った。そして、いつも思うことは、人を傷つけ悲しませることになる差別は、私たちの生活の中にはあつてはならない問題なのではないかということがある。

差別という言葉は、すぐには聞きたくない。差別を思い浮かべる。

同和地区。身分制度があつた頃、一番低い身分と認められた人たちが住んでいた所。その地域に、今も人々

### ご参加ください 同和問題講演会

「国民的課題としての同和問題」

○講師 京都府立大学名誉教授

○日時 十一月二十日(土) 午後一時三十分

○場所 山口県視聴覚センター レクチャールーム

西元 宗助 先生

が生活している。その人たちの中には、祖先が農工商より低い身分と決められた人もいたかもしれない。しかし、何故そんな昔のものをもち出して、差別する必要があるのだろうか。差別する人たちは、差別される人の気持ちについて考えたことがあるのだろうか。考えないからこそ、平気で差別してしまうのだろうか。そういう人がいるということは、とても悲しいことだ。

昔と比べたら、差別する人は減つたということだが、まだ残っていることはまちがいない。だから、同和問題は必要なのである。

一体どのような面で部落差別があるかという点、よく聞く例では、就職についてが多いようだ。

高校を優秀な成績で卒業した人が、先生から進められて、大きな会社の就職試験を受けた。一次試験は軽く合格した。けれども、二次試験の面接で不合格になつてしまつた。身元調査があつたらしい。その人は、同和地区出身だつたそうだ。

その話を聞き、私はがっかり

小学校・中学校同和教育資料



した。就職試験に、住んでいた所なんて、少しも関係ないはずだ。その人の能力や性格などがわかれば、会社を採用されるかどうか決められると思う。

私がそんな立場におかれたら嘆き、悲しみ、恨み、就職する気をなくしてしまうだろう。

就職における差別だけでなく結婚問題もある。身元調査が行われ、結局は結婚を許されないということがおこっている。

何故、そんな理由で、悲しい思いをしなければならぬのか。すぐに小さくしなければならぬと考えている人は、たくさんいると思う。

今、同和对策事業が盛んに行われている。その対策では、対象地域における、生活環境の改善や社会福祉の増進など、いろいろな努力がなされているということだ。このような対策に、国民全体が協力し、部落差別をなくしていかなければならない。

もちろん、私も、今以上に真剣に、同和問題について勉強したいと思う。自分の心から、差別心をとり除かなければならないと思つている。

十月二十一日(水)保護者参観日にあわせて、全校で同和教育に視点をあわせての授業参観が実施された。どの学級にも熱心な保護者の方の眼の輝きがあつた。

児童用の同和教育資料「なかよし」を数日前から、参加の保護者に渡して事前の研究が進められていたので、授業の内容とあわせて考えながらの参観であつた。

## 親と共に考える 同和教育

### 嘉川小学校で



同和教育の授業参観風景

## 市民同和教育研修講座 10/14 ~ 11/20

秋の鍛錬遠足鳳凰登山の帰 二百名近い参加者で熱気が溢れり、階段を登るのに足が上がる。毎年受講している方も入られる小学校の先生。夕食 国民的課題としての同和問題もとらずに勤

め帰りの方々が、五時半ごろから正面の席に陣どつておられる。山の端からではかけつけても六時を過ぎても思えき切つて来られる方。ふしの会館の会場は、



「同和問題の歴史的背景」の講義を受ける受講者

は、他人ごとではない。自分にかかわる問題だからと、力を入れて市民同和教

育研修講座へ出席して、多くの話を聞き、みんなで話し合つて同和問題の確立のための学習をすすめていきたい願ひがこめられていた。

※この講座は、毎年秋に実施されています。市民全員の方に受講していただきたいものです。

## 入選語

# 部落差別正しい理解で断ち切

# ボランティア活動の

## 発展を願って

私たちの心には、何か社会のために役立つことをしてみたいと願う心があります。その心こそボランティア精神であり、ボランティア活動を始める動機となるものです。

社会的存在である人間にとつて、ものを与えられるより「心のつながり」を持つことがより大切です。

お互いが「心と心」でつながる社会こそ、ボランティア活動の究極の願いです。

しかし、心ではボランティア活動を求めているも、具体的に何をすれば良いかわからない

# つながる社会 福祉の輪を



ボランティア研究会では、福祉施設の職員とボランティアが、活発に意見交換を行いました

の重要さに鑑み「山口市地域福祉振興アドバイザー設置要綱」を制定し、学識経験者から意見を聴くことにしています。

アドバイザーには、平井彰子さん（水の上町）、山本八重子さん（道祖町）、佐々木花子さん（陶）を委嘱しています。

今後の活動に期待が寄せられています。

心に秘められている善意が、ボランティア活動となって、より一層活発になることを願って、市では次のことを実施しています。

○山口市地域福祉振興アドバイザーの設置  
地域福祉の振興を図るために、ボランティア活動の果たす役割

の重要さに鑑み「山口市地域福祉振興アドバイザー設置要綱」を制定し、学識経験者から意見を聴くことにしています。

アドバイザーには、平井彰子さん（水の上町）、山本八重子さん（道祖町）、佐々木花子さん（陶）を委嘱しています。

今後の活動に期待が寄せられています。

心に秘められている善意が、ボランティア活動となって、より一層活発になることを願って、市では次のことを実施しています。

○山口市地域福祉振興アドバイザーの設置  
地域福祉の振興を図るために、ボランティア活動の果たす役割

## 心身障害者

### 求職のための集い

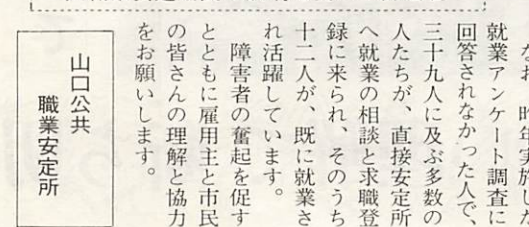
昨年実施した、心身障害者（児）就業アンケート調査によると、「働いていない」と回答した人の中で、その理由として「働く場所がないため」「通勤が困難なため」と回答した人が、六十四人に達していることがわかりました。そこで、働く意欲がある人たちの能力、障害の状況によって積極的に職業をあっ旋し、障害者の社会参加を促進することを重点課題として、七月二十三日、六十四人を対象に「心身障害者求職のための集い」を開催しました。

え、職業紹介の状況等の説明を中心に、参加者全員の意見交換などを行い、なごやかな雰囲気の中で有意義に終了しました。ご承知のとおり、昨年は国際障害者年であり、また今年の七月には県の国際障害者年推進本

この基金の利子がボランティア活動の資金になります。

当日の参加者は障害者十三人のほか、市福祉事務所、市身体障害者相談員、精神薄弱者相談員、心身障害者職業センター、県心身障害者雇用促進協会、および山口市公共職業安定所所長以下担当職員と三十人の関係者が出席しました。

山口公共職業安定所長の説明を受ける心身障害者求職の集いで



山口公共職業安定所

うと思う人  
●ボランティアの援助が受けた人  
●その他ボランティア活動のことなら何でも気軽に相談ください。  
電話は、二二一七二二一です。  
ただし、来年三月までは午前中だけです。  
《ボランティア活動の現況》  
現在、市社会福祉協議会に登録されているボランティアは個

人が二十三人、グループは二十四グループ六百三十人で、これらの方々が様々なボランティア活動をしています。  
また、ボランティア自身の資質向上のため、各種の研修会や情報交換をしています。  
なお、グループの方々には山口市ボランティアグループ連絡協議会を結成していますので、みなさんの参加をお待ちしています。



体の不自由な人たちのために、階段・洗面所・廊下など建物全体に配慮が施してあります（総合病院山口赤十字病院）

# 障害者福祉特集

# 心と心で 広げよう

## 促進しよう 施設の改善

私たちの住む街には、体の不自由な人たちも一緒に生活しています。

ところが、体の不自由な人たちの立場に立って現在の街の様子を見ると、これらの人たちに對する細かい心配りに欠けているところが、色々あることに気が付きます。

このたび市では、市民一体となって建築物や道路・公園等が体の不自由な人たちにとっても、利用しやすいように改善して行くことを目的として、「福祉のま

ちづくりのための環境整備要綱」(昭和五十八年三月一日から適用)を制定しました。

これは、公共施設だけでなく、多くの人が利用する民間の施設についても、みなさんの協力を得て、整備を進めていこうとするものです。

この要綱が、物的環境の整備だけにとどまらず、体の不自由な人たちの立場になって考える「福祉の心」の輪として、市民全体の中に広がって行くことが切に期待されています。

### 講習会の開催

建築物や道路・公園等を整備して、身体が不自由な人たちに利用し易い施設づくりを進めるために、次のとおり講習会を開きます。

〔第一回目〕

○日時 十一月二十五日午後一時三十分から

○場所 県身体障害者福祉センター

○対象者 建築士、設計事務所関係者

〔第二回目〕

○日時 十一月二十六日午後一時三十分

○場所 市中央公民館

○対象者 建築主

乳幼児のとき、障害を早く発見し、早く適切な治療や訓練を実施することを目的に、昭和五十六年十一月から、県心身障害児総合療育機能推進事業が、山口市をモデルとして実施されていますが、市ではその一環として「しらさぎ学級」を開設しています。

同学級は、障害児の保護者に障害について勉強してもらうことと、専門講師が月二回指導助言を行います。障害児には指導員と保母が、生活訓練と療育訓練を行います。

希望者は、市役所福祉課(亀山町二一(電)二二四二二)へご相談ください。

## 障害児の療育希望者 しらさぎ学級へ



白さぎ学級の保母さんから起立訓練を受けている幼児

### 交通弱者の 事故を防ごう

山口市の交通事故は、昭和四十五年以降減少していましたが十五年以降増加の傾向にあります。

このようなか中で、交通弱者といわれる障害者や老人・幼児の交通事故は依然として大きい割合を占めています。

○交通事故の特徴  
道路横断中の事故が多く、飛び出し、左右の安全確認の不十分が大半を占めています。

○安全施設の利用  
交通事故から身を守るためには、交通安全施設が設置してあるところでは、その施設を利用することが大切です。

○思いやりの心で安全運転、安

全交通を  
私たちの住む街には、障害者や老人・幼児がいつも一緒に生活していることを念頭に「思いやりの心」をもって安全運転をしましょう。

また、障害者や老人・幼児も保護されて当然と言う態度でなく、みんなが交通法規や交通マナーを守りましょう。

なお、前年度の利用券(だいたい色の表紙)は、期限が切れていて使用できません。詳しくは、福祉課へお問い合わせください。

一(電)二二四二二、または出張所で申請をしてください。申請月から一カ月四枚の割合で青色の表紙の利用券を交付します。

### 福祉タクシー利用券 申請がまだの人へ

山口市に住所があり、身体障害者手帳の一級から三級まで、または療育手帳Aを所持している人で、福祉タクシー利用券(一回の乗車で三百円引き)の交付を希望する人で、申請がまだの人は、印鑑と手帳を持参して、市役所福祉課(亀山町二一

### 福祉優待乗車証は 届きましたか

市営バス福祉優待乗車証を、十月一日に、満七十歳以上の人と、身体障害者手帳一級から三級まで、または療育手帳Aを所持している人に送付しましたが、転入等により、届いていない人は、市役所福祉課にご連絡ください。

# 北京・故宮博物院展

## 12月4日から 福岡市美術館で

日中国交正常化十周年を記念して、十二月四日から二十三日まで福岡市美術館（中央区大濠公園）で「北京・故宮博物院展」が開催されます。

故宮は明、清時代の王城で「紫禁城」とも呼ばれ、明代の永楽十八年（一四二〇）に落成。現在は、古代から明、清に至る中国美術の逸品九十万点を集めた一大博物館になっています。南北約七百メートル、



孝端皇后の鳳冠。明時代の礼装用の冠で、100個余りの宝石とい大小の真珠5000個が使われています

七十二万平方メートルにおよぶ広大な敷地に大小さまざまな建物が並び、部屋数は一万近く、まさに世界最大の木造建築群です。中国側が、今回の展覧会のために送り出してくれた文化財は多彩を極めています。その数は九十九件、総数百八十二点。第一部では、故宮の遺宝を通して、明、清時代の宮廷生活を再現し、第二部では、膨大な収蔵品から厳選した殷、西周時代の青銅器

### 不燃物の収集日

#### 出張所地区

- 12月 1日 嘉川、2日 鑄銭司・陶、3日 佐山、6日 名田島・秋穂二島、7日 大平、14日 平川、17日 小鯖、21日 吉敷、22日 仁保、23日 宮野、27日 大蔵

#### 林業における振動障害(白ろう病) 特殊健康診断を実施します

- 期日 11月26日(金)
- 場所 阿東町森林協業センター(阿東町徳佐下 ☎08395-6-0600)
- 健診予定人数 40人
- 健診料 5,000円
- 申し込み 林業労働災害防止協会 山口県支部(中央四丁目県商工会館4階 ☎22-0157)へ

#### 国民金融公庫中小企業年末資金

- 融資金額 2,100万円(ただし、若干制限があります)(特定設備資金の融資金額は2,700万円以内)
- 融資期間 運転資金 5年以内、設備資金 10年以上(希望により据置期間も設けられます)
- 利率 年8.2%(昭和58年1月から0.2%引き上げられる見込み)
- 問い合わせ 国民金融公庫山口支店(中央五丁目 ☎22-3660)へ

### 火災情報

区分	建物	林野	車両	その他	計
10月 中 発 生 の 数	3	1			4
今 年 中 累 計	24	9	1	5	39
10月 中 発 生 の 火 災 原 因	靱乾燥機 たばこの不始末 石油ストーブの取扱い不注意				

## お知らせ

### 山口県立衛生看護学院学生募集

- 募集人員 保健婦科40人、助産婦科20人、看護婦科(1部・2部とも)50人
- 修業年数 保健婦科・助産婦科1年、看護婦科(1部)3年、同(2部)2年
- 願書受付 保健婦科・助産婦科 昭和58年1月10日～25日、看護婦科 昭和58年1月10日～31日
- 試験日 保健婦科 昭和58年2月1日・2日、助産婦科 昭和58年1月31日、看護婦科(1部) 昭和58年2月3日・4日、同(2部) 昭和58年2月7日・8日
- 試験場 山口県立衛生看護学院
- 問い合わせ 山口県立衛生看護学院(防府市大字西佐波令2436 ☎0835-23-1920)へ

### 山口県歯科衛生士学院学生募集

- 募集人員・修業年数 50人・2カ年
- 受験資格 満18歳以上25歳未満の女子で、高等学校卒業者および昭和58年3月卒業見込みの人
- 出願期間 11月10日～昭和58年1月14日
- 試験日 1月22日(土)、23日(日)
- 試験場 山口県歯科衛生士学院
- 問い合わせ 山口県歯科衛生士学院(吉敷字芝添3238 ☎23-1820)へ

### 「ナショナル・トラスト」愛称募集

ここ数年、イギリスの「ナショナル・トラスト(国民信託)」を範として、一般市民からの募金によつて美しい自然環境を保護しようとする運動が始まっています。多数の国民の支持と共感を得ています。



環境庁では、このような運動が日本に根づき、ますます広く国民の支持を得られることを願ひ、一般に親しみやすい名称(愛称)や標語、保存したい場所を次により募集しています。

- 募集する事項 ①日本の国情に合った「ナショナル・トラスト(国民信託)」の参加や愛称 ②「ナショナル・トラスト」の標語 ③一般市民の参加や拠出によって保存したい場所の区分を明記する
- 応募方法 官製または私製ハガキの裏面に愛称・標語・場所の区分を明記し、11月30日までに環境庁自然保護局「ナショナル・トラスト」係(〒100 東京都千代田区霞ヶ関3-1-1 ☎03-581-3351 内線2482)へ

主催 福岡市美術館、西武美術館

入場料 一般八百円(六六六円)、大・高生六百円(四四四円)、中・小学生三百円(二二二円)

山口文化バスの会では、「北京・故宮博物院展」の観賞を目的とした旅を、次のように計画し、会員を募集しています。

### 山口文化バスの会

12月12日、福岡市へ

主催 福岡市美術館、西武美術館

12月4日～10日 第34回入権週間

### 12月4日～10日

十二月四日から十日までは、「第三十四回入権週間」です。

山口県地方自治局と山口県入権擁護委員会では、次の強調事項を掲げ、その普及・高揚を呼びかけています。

- 入権の共存
- 部落差別の解消
- 婦人の地位の向上
- 障害者の完全参加と平等
- 入権についての相談は、山口県地方自治局入権擁護課(黄金町 ☎22-2295)または次の入権擁護委員へ(敬称略)

### ご存知ですか 労働福祉貸付制度

県では、労働者の福祉の増進と中小企業の振興を図るため、次のような融資制度を実施しています。

- 労働福祉施設整備資金
- 貸付対象者 中小企業者およびその団体など
- 資金使途 労働者のため
- 貸付限度額 単独施設千五百万円、共同施設二千万円、託児施設三千万円
- 貸付利率 年六・九五%
- 心身障害者・中高年齢者等雇用促進資金
- 貸付対象者 中小企業者
- 資金使途 心身障害者・中高年齢者および寡婦等を雇用するために必要とする資金
- 貸付限度額 該当者一人につき三百万円、一企業千二百万円
- 貸付利率 年六・七%

詳しくは、市商工観光課または県労政課へ

- 塚田守男(後河原 ☎22-1805)
- 小林正人(下市町 ☎22-1308)
- 末永フミコ(仁保 ☎29-1037)
- 末永汎本(米栄一丁目 ☎24-1256)
- 末宗照彦(白石一丁目 ☎21-1302)
- 末廣孝幸(陶 ☎42-1762)
- 田村齊四郎(嘉川 ☎24-1231)

### 「心身障害児の就学審査会」の日程変更

11月1日号の市報でお知らせした、来年4月小学校に入学する該当児の標記審査会の日程のうち、12月14日を12月7日に変更します。